

2019（令和元）年度

城西大学動物実験自己点検・評価報告書

2020（令和2）年 8月 1日

城西大学動物実験管理自己点検評価委員会

本報告書は、城西大学動物実験規定第 14 章（自己点検・評価・検証）第 55 条に基づき、城西大学動物実験管理自己点検評価委員会が作成したものである。

作成日：2020（令和 2）年 7 月 30 日

作成者：松本明世（委員長）、和田政裕（副委員長）、一色恭徳（委員）、石黒直哉（委員）、内田昌希（委員）、中谷祥恵（委員）

## I 規程及び体制等の整備状況

### 1) 機関内規程

#### [現状と点検・評価]

「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」（以下「基本指針」と表記する）に適合する機関内規程〔城西大学動物実験規程、2007（平成19）年10月12日制定・施行、2010（平成22）年6月23日一部改正、2017（平成29）年10月20日一部改正、2019（平成31）年4月1日一部改正〕が定められており、適正であると判断できる。

#### [改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

### 2) 各種動物関連委員会

#### [現状と点検・評価]

基本指針に適合する「城西大学全学動物実験管理委員会」の下、「動物実験管理委員会」「動物実験委員会」「動物実験広報委員会」等、各種関連各種委員会が組織され、適正に運営されている。

#### [改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

### 3) 動物実験の実施体制

#### [現状と点検・評価]

動物実験は城西大学動物実験規程第9章に従って実験計画の立案（動物実験計画書、書式1）、審査、手続きを経、適正に実施される体制になっている。動物実験の終了時には実験結果報告書（書式2）と動物実験終了・中止報告書（書式8）の提出が定められており、適正と判断できる。

#### [改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

### 4) 実験施設の設置状況

#### [現状と点検・評価]

動物の飼育と動物実験が実施された1号館の実験室、16号館の実験室、18号館の実験室、21号館の実験室、1号館の動物飼育室、16号館動物飼育室、21号館動物飼育室、生命科学センター内実験室及び動物飼育施設はいずれも城西大学動物実験規程第10章第37条から第42条に従って設置管理され、城西大学全学動物実験管理委員会の承認を得たもので、動物実験に適切な施設であると判断できる（実験室設置承認申請書 書式5、実験室設置承認書）。また実験動物の飼育・管理に関しては同規程第11章第43条から第51条に適合する施設が設置されている（飼育保管施設設置承認申請書 書式4、飼育保管施設設置承認申請書）。

#### [改善方策]

改善すべき点は見当たらない。

### 5) 安全管理状況

#### [現状と点検・評価]

動物実験を実施する学部学生、大学院生及び教職員は、全学動物実験管理委員会、動物実験管理

委員会、薬学部動物管理委員会・理学部動物管理委員会及び生命科学研究センターが主催する「動物管理・実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」に参加することが義務付けられており、安全管理体制は整備されている（実験動物施設利用の手引、動物実験の適正な実施に向けたガイドライン）。

〔改善方策〕

改善すべき点は見当たらない。

## II 実施状況

### 1) 動物実験委員会

〔現状と点検・評価〕

「城西大学動物実験規程」に基づき、委員会活動が実施されており、基本指針に適合し、適正に機能していると判断できる。

〔改善方策〕

改善すべき点は見当たらない。

### 2) 動物実験の実施状況

〔現状と点検・評価〕

2019（令和元）年度は114件の動物実験計画書が提出され、外部委員2名を含む動物実験委員会（7名）で本学の動物実験規程に照らして審査した結果、すべての動物実験計画が許可された。動物実験委員会による動物実験計画書の審査は、厳正・適正に実施されたと判断できる。

動物実験を実施するすべての学部学生、大学院生及び教職員は、全学動物実験管理委員会、動物実験管理委員会、薬学部動物管理委員会・理学部動物管理委員会及び生命科学研究センターが主催する2019（令和元）年度「動物管理・実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会」（第1回4月27日、第2回5月11日及び第3回5月17日）に参加することが義務付けられており、動物実験の実施状況は良好であった〔実験動物施設利用の手引き（生命科学センター、薬学部動物施設）〕。2019（令和元）年度に実施された動物実験に関する動物実験計画書（書式1）、動物実験結果報告書（書式2）、動物実験計画（変更・追加）承認申請書（書式3）、動物実験終了・中止報告書（書式8）（延べ114件）を精査した（2020年6月4日）結果を別表にまとめて示した。別表の申請数とは最初の動物実験計画書の申請数であり、使用数は動物実験終了・中止報告書の使用数である。2019（令和元）年度の実験動物使用匹数は以下の通りである。

・ラット	3,824 頭
・マウス	5,626 頭
・ハムスター	2 頭
・モルモット	1 頭
・家兎	6 頭
・両棲類	312 匹
・魚類	302 匹

合計 10,073 頭

すべてにおいて所定の書式が提出され、申請数と使用数の間に当初の計画と大きな違いがあるものについては、全て動物実験計画（変更・追加）承認申請書が提出され、承認されている。

2019（令和元）年度における動物実験に基づく研究成果は学会における発表 38 件、誌上発表として論文 5 報が公表された。学会発表並びに誌上発表の件数は昨年度とほぼ同様であった。また、動物実験報告書を見ると論文執筆中、投稿準備中としているものも多く、誌上発表を意識していることが判断できる。くわえて、多くの研究成果が卒業研究論文、修士研究論文等にまとめられている。

2019（令和元）年度において、実験計画書 114 件中 12 件の中止及び多くの実験計画の変更が認められた。しかし、実験計画の変更では、当初より使用した動物数が増加した研究も散見されるものの、変更申請された多くの研究では、超微量定量法の適用、実験群数の削減、あるいは実験の進捗状況による、実験動物の使用数を削減するためのものであった。その結果、2019（令和元）年度に実験に使用された実験動物の総数 10,073 頭は、前年度の 10,318 頭とほぼ同等であった。

#### [改善方策]

動物実験の実施状況は昨年度と同様に良好であった。研究成果の公表については、昨年度とほぼ同様であるが、今後、さらに誌上発表数の増加が望まれる。また、多くの研究は、卒業研究、修士論文研究、及び、博士論文研究として実施されているものと考えられ、多くの報告書で、これらの論文についても「動物実験結果報告書」の「5 成果」に記載されている。次年度も卒業論文等の件数を積極的に記載するようにすると良いと思われる。

### 3) 実験動物の飼育保管環境

#### [現状と点検・評価]

実験動物の飼育・管理に関しては城西大学動物実験規程第 11 章第 43 条から第 51 条に従って適正に実施された。東日本大震災の教訓から、動物飼育施設において、特に遺伝子改変動物の飼育に関しては、厳重な飼育場所と同時にネズミ返し等の防御策がとられている。

飼養施設における実験動物への感染症予防のために、1 号棟動物施設、16 号棟動物飼育施設、21 号棟動物飼育施設及び生命科学センター内実験室と動物飼育施設は、定期消毒が実施されている。また、他の実験室や飼育室も適切に管理・清掃されている。なお、22 号棟動物飼育施設は使用されなかった。

#### [改善方策]

地震などによるケージの落下を想定し動物が逸走しないよう、引き続き飼育環境の整備に努める。

### 4) 教育訓練の実施状況

#### [現状と点検・評価]

2019（令和元）年度 第 1 回 4 月 27 日、第 2 回 5 月 11 日及び第 3 回 5 月 17 日に、動物管理・実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会が、動物実験に関わる全ての教員、大学院生、学部学生、研究生を対象として、適正に開催された（実験動物施設利用の手引き、動物実験の適正な実施に向けたガイドライン）。

一方、2020（令和2）年3月に予定されていた「犠牲動物に対する慰霊祭」は新型コロナウイルス感染の対策のために中止となった。

〔改善方策〕

改善すべき点は見当たらない。

#### 5) 自己点検・評価、情報公開

〔現状と点検・評価〕

城西大学動物管理自己点検評価委員会による、2019（令和元）年度の動物実験管理に関する自己点検評価は、全ての動物実験結果報告書が提出され、各委員会の報告書も提出されており、ここに同報告書を作成することができた。

情報公開については、文部科学省「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本方針」に準じて、1) 全学動物管理委員会等の名簿、2) 2018（平成30）年度城西大学動物実験自己点検・評価報告書、3) 動物実験に関する届出・計画書式が公開されている。

〔改善方策〕

改善すべき点は見当たらない。

以上

2019(令和元)年度 動物実験実施状況(動物実験管理自己点検評価委員会)

動物種	動物申請数、使用数														研究成果(卒業論文・修士論文等は備考に記載)		実験の結果						
	ラット		マウス		ハムスター		モルモット		家兎		両棲類		魚類		学会発表	誌上发表	備考	計画どおり実施		-変更・追加して実施-		中止	
	承認番号	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数	使用数	申請数				使用数	継続	終了	継続		終了
JU 19001		80	80												1	79th World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences (Abu Dhabi)	○						
JU 19002		400	312												1	J Pharm Sci 1-7 (2019)				▽			
JU 19003		50	15					10	1						1	第35回日本DDS学会学術集会				▽			
JU 19004		100	100	20	25	20	2									論文投稿中					○		
JU 19005		55	15												1	第44回製剤・創製セミナー				▽			
JU 19006		56	40												1	Int J Pharm (2019)				▽			
JU 19007		54	54													博士論文1編、卒業論文2編		○					
JU 19008		159	159													卒業論文2編	○						
JU 19009		151	151												1	日本薬学会第140年会	○						
JU 19010		72	72													卒業論文2編	○						
JU 19011		60	100												2	埼玉医療薬学懇話会第39回学術研究講演会 第63回日本薬学会関東支部大会						△	
JU 19012									7	6												▽	
JU 19013		72	72												2	日本薬学会第140年会 2報	○						
JU 19014		40	40														○						
JU 19015		60	60														○						
JU 19016		240	240												1	日本薬学会第140年会	○						
JU 19017		130	130	60	105										2	日本薬学会第140年会 日本製剤学会第35年会				△			
JU 19018				100	100										1	第93回日本薬理学会年会	○						
JU 19019		40	40												1	第93回日本薬理学会年会	○						
JU 19020		30	0																			▽	
JU 19021		100	61													博士論文研究						▽	
JU 19022		50	1																			▽	
JU 19023		54	24																			▽	
JU 19024		36	12	36	0																	▽	
JU 19025		24	12																			▽	
JU 19026		18	8																			▽	
JU 19027		18	12																			▽	
JU 19028		20	20														薬学実習C(学生実習)	○					
JU 19029		4	4														薬毒物分析(学生実習)	○					
JU 19030		121	121	616	616						56	56					薬学実習E(薬理系 学生実習)	○					
JU 19031				60	20												城西大学薬学部で学ぶ「生命と薬」および薬学部一日体験科学教室(対象 高校生)	▽					
JU 19032		96	96												2	Biol Pharm Bull. 42 (2019) Current Topics in Pharmacology, 23 (2019) 第63回日本薬学会関東支部大会	○						
JU 19033				96	96												2020年度卒業論文3編	○					
JU 19034				104	104												2019年度卒業論文1編	○					
JU 19035				120	120										1	第63回日本薬学会関東支部大会	○						
JU 19036				30	0												ひらめき とぎめきサイエンス卒業						○
JU 19037		72	72	108	0										1	日本薬学会第140年会					▽		
JU 19038		12	0														ヘアレスラット系統維持					▽	
JU 19039		120	120												1	日本薬学会第139年会 2019年度卒業論文1編	○						
JU 19040		70	0																				○
JU 19041		130	47												1	日本薬学会第139年会 2019年度卒業論文1編					▽		





JU 19091			6	6											1	2019年度日本生化学会関東支部例会 2019年度卒業研究1編		○			
JU 19092			60	60												学会発表予定		○			
JU 19093			60	40												学会発表予定				▽	
JU 19094			32	0																	○
JU 19095	50	5																	▽		
JU 19096	88	88																	○		
JU 19097			36	36															○		
JU 19098			30	30															○		
JU 19099			48	0																	
JU 19100			60	60															○		
JU 19101			12	13																	○
JU 19102												152	152						○		
JU 19103												150	150						○		
JU 19104			10	10															○		
JU 19105											244	244							○		
JU 19106											12	12							○		
JU 19107			10	10																	
JU 19108	102	9																			▽
JU 19109	272	75													1	1 Pharmaceuticals (2019)					▽
JU 19110	143	8													1	日本薬学会第35年会					▽
JU 19111			96	14																	▽
JU 19112			80	0																	
JU 19113			64	64																	
JU 19114			35	35															○		
計	5309	3824	5994	5626	20	2	20	1	7	6	312	312	302	302	38	5			○		

\* 「一部変更・追加して実施」の「▽」は申請数に対する使用数が10%以上減少、「○」は申請数に対する使用数の増減が10%未満、および「△」は申請数に対する使用数が10%以上増加を示す。  
 動物実験申請総数: 114 件 中止件数: 12 件 総使用動物数: 10,073 匹 学会発表数: 381 誌上発表: 5 報

2019（令和元）年度 動物実験管理自己点検評価委員会活動報告

委員会名	動物実験管理自己点検評価委員会
委員	委員長 松本明世 副委員長 和田政裕 委員 一色恭徳 石黒直哉 内田昌希 中谷祥恵
会議回数	1回（メール会議）
実施状況と結果	各実験動物委員会報告を受け、取りまとめと評価についてメール会議を行った。 学長からの指示により、2019（令和元）年度）城西大学動物実験自己点検・評価報告書を提出した。
活動の評価	城西大学動物実験自己点検・評価報告書の作成は例年より2ヶ月余り遅れたが、予定通りに行った。

2020（令和2）年度 第1回 動物実験管理自己点検評価委員会（メール会議）議事録

審議者 松本 和田 一色 石黒 内田 中谷

期 間 2020（令和2）年7月20日～2020（令和2）年7月29日

議案

1. 2019（令和元）年度 動物実験管理自己点検評価委員会報告書（案）について  
2019（令和元）年度 動物実験管理自己点検評価委員会報告書（案）について、メール会議により審議をおこない、承認された。

以上

## 2019年度 動物実験委員会活動報告書

委員会メンバー：荻原政彦（委員長）、小林順（副委員長）、北川浩子、清水純、木村光利  
鈴木研太（外部委員）、主山しのぶ（外部委員）、  
三橋秀行（事務局）、玉井彩子（事務局）、武下一男（事務長）

### 1 2019年度の動物実験委員会活動計画

- 1) 2019年度の動物実験管理委員会への動物実験実施計画書の募集を依頼
- 2) 定期的な動物実験実施計画書の審査を実施
- 3) 臨時の動物実験実施計画書の募集とその審査を実施
- 4) 動物実験管理委員会へ動物実験実施報告書の提出を依頼
- 5) 動物実験管理委員会へ新規実験室設置承認申請書の提出依頼と調査の実施依頼

### 2 2019年度の動物実験委員会活動報告

(1) 外部委員出席の下で、飼養保管施設・動物実験施設設置承認および定期的な動物実験実施計画書の審査を実施した。

- 1) 日時：2019年4月11日、12時50分～14時00分、於：21号館会議室  
・飼養保管施設設置承認申請書（22-704室1件）及び実験施設設置承認許可（変更・追加等）申請書（OLH29021,022、31001,31002 4件）が提出された。  
 本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全ての施設に関し承認された。  
・実験計画申請書類数 108件（受付番号 30001～30108）（内新規動物実験実施計画書 21件）が提出された。  
 本学の動物実験規定に照らした審査を、新規のCとDを中心に審査を実施し、全ての計画書に関し承認された。  
 計画書の内訳ランク A 0件、B 25件、C 45件、D 38件
- 2) 日時：2019年10月8日、12時50分～13時30分、於：21号館会議室  
 動物実験計画書に関し、終了（JU19092 1件）・中止（JU19036, 049 2件）・変更届（JU19004, 008, 017 3件）、および新規申請書（31109～31114 6件）が提出され、本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全て承認された。  
 新規申請書内訳ランク B 0件、C 2件、D 4件

(2) 動物実験管理委員会から提出された2019年度の動物実験実施報告書の審査を実施した。

- 1) 日時：2020年6月4日、14時00分～14時40分、於：ZOOM（テレビ会議）  
 実施報告書 114件（承認番号 JU19001～JU19114）（114件）が提出された。  
 本学の動物実験規定に照らした審査を実施し、全て承認された。

### 3 2019年度の動物実験委員会活動の自己評価

年度当初の活動計画を実行できたものと考えられる。

### 4 その他

1) 動物愛護法の改正と自己点検評価に伴い、城西大学動物実験規程を改正し、実験動物施設と計画書に関わる様式のダウンロード化及び様式等の変更を実施した。

大学情報公開に伴い、実験動物施設関連の様式等の学内専用ダウンロード化を整備。

<https://www.josai.ac.jp/about/information/animalexam/syoshikitou/index.html>

以上

2020年6月4日（木）荻原政彦（委員長）

令和元年度動物実験管理委員会活動報告

委員会名	動物実験管理委員会
メンバー	委員長 夏目、副委員長 真野、岡崎、田中享、金、大島（新）、菊地、森田、小川（JAC）
会議回数	3回（メール会議1回含） 議事録は報告書の下に添付
年度初めの計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育・訓練の実施 → 生命研、薬学部動物管理委員会合同</li> <li>2. 中間期での動物実験計画書、動物実験室等の追加等の提出および加筆訂正</li> <li>3. 令和元年度動物実験結果報告書の作成依頼および加筆訂正</li> <li>4. 令和2年度動物実験計画書等の作成依頼</li> <li>5. 動物慰霊祭の開催 → 生命研、薬学部動物管理委員会合同</li> <li>6. 令和元年度動物実験結果報告書、令和2年度動物実験計画書等の提出 → 全学動物実験管理委員会へ</li> <li>7. 以下の項目を適宜、指導、実施する。</li> </ol>
実施状況結果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全学動物実験管理委員会、生命科学研究センターおよび薬学部動物管理委員会との合同で、平成30年度「動物管理・実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会」を開催した（第1回4月28日（土）および第2回5月12日（土）15:30～、10-502）。</li> <li>2. 中間期での動物実験計画書、動物実験室等の追加等の提出を依頼し（7月）、加筆訂正後、全学動物実験委員会に提出した（9月）。</li> <li>3. 令和元年度動物実験結果報告書の作成を依頼し（令和2年1月）、加筆訂正した（令和2年3月）。</li> <li>4. 令和2年度動物実験計画書等の作成を依頼し（令和2年1月）、加筆訂正した（令和2年3月）。</li> <li>5. 全学動物実験管理委員会から依頼のあった動物慰霊祭を薬学部動物管理委員会と共に開催予定であったが、コロナウイルス感染の対策のため、中止した。</li> <li>6. 令和元年度動物実験結果報告書、令和2年度動物実験計画書等を全学動物実験管理委員会へ提出した（令和2年3月）。</li> <li>7. その他 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 次年度の動物管理・実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会の開催日時を協議した。コロナウイルス感染のリスクが高いため、教育訓練および施設利用説明・講習会のビデオを撮影し、利用する研究室ごとにビデオを配信し、視聴してもらうこととした。申請書等は、視聴したことを踏まえて、提出してもらうこととした。</li> <li>2) 薬学部動物施設および生命科学研究センターの令和2年度の飼養に関して点検し、各施設から飼養報告書が提出された（別紙添付）。</li> </ol> </li> </ol>

活動の 評価	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 概ね滞りなく行った。</li><li>2. 第 1 回動物管理・実験に関する教育訓練および施設利用説明・講習会の参加者は 240 名、第 2 回は 274 名であった。YY5 年生の学外実習の関係で、5 月 17 日に講習会を実施し、参加者は 15 名であった。また、学部生 2 名、院生 1 名と JAC スタッフ 4 名について、別途対応した。</li><li>3.</li></ol>
-----------	--

令和元年年度第1回動物実験管理委員会 議事録 メール会議

参加者：夏目、真野、岡崎、金、田中享、大島新、菊地

日時：平成31年4月22日（月）

議題：1. 4月27日（土）および5月11日（土）に開催予定の「第1回および第2回の動物管理に関する教育訓練および施設利用方法講習会」の役割分担について協議し、決定した。YY5年生が学外実習で受講できないため、5月17日（金）にも実施することにした。

2. 平成31年度（令和元年度）の計画（案）について協議し、決定した。

令和元年度第2回動物実験管理委員会 議事録

参加者：夏目、真野、岡崎、田中享、金、大島新、菊地

日時：令和元年9月3日（火）17：00～

場所：21号館会議室

議題：1) 中間期に提出された動物実験計画書（書式1）、実験室設置承認申請書（書式5）等の記載内容等の同委員会によるチェック、判断

提出された動物実験計画書（書式1）、実験室設置承認申請書（書式5）等の記載内容等に不備等がないかチェックし、これらの書類の妥当性を判断して、すべての提出書類を全学動物実験管理委員会へ提出した。

2) 医療栄養学科の学部学生（3年生）に対して、栄養生理学実習内で行う教育訓練について

全体的な講義を夏目が、16号館の動物施設の利用に関して金が説明することにした（9月25日（水）、16号館301号室）。

以上



## 令和元年度第3回動物実験管理委員会 議事録

日時：令和2年3月5日（木）16:00～

場所：21号館会議室

出席者：真野、岡崎、金賢、田中享、夏目、大島新、菊池

議題：1) 提出された動物実験結果報告書（書式2）、終了・中止報告書（書式8）、動物実験計画（変更・追加）承認申請書（書式3）の記載内容等の同委員会によるチェック、判断

提出された動物実験結果報告書（書式2）、終了・中止報告書（書式8）、動物実験計画（変更・追加）承認申請書（書式3）の記載内容等に不備等がないかチェックし、これらの書類の妥当性を判断して、すべての提出書類を全学動物実験管理委員会へ提出することとした。

2) 動物実験計画書（書式1）の記載内容等の同委員会によるチェック、判断

提出された動物実験計画書（書式1）の記載内容等に不備等がないかチェックし、これらの書類の妥当性を判断して、すべての提出書類を全学動物実験管理委員会へ提出した。

3) 次年度の動物実験に関する教育訓練及び施設利用説明・講習会の開催日時について

令和2年度の標記開催日時を、令和2年4月27日（土）15:30～（第1回）、5月11日（土）15:30～（第2回）とし、場所を10号館102とすることを決定した。

4) 金先生の退職と真野先生の継続が難しいことから、医療栄養学科の須永先生と岩田先生に委員として加わってもらった。

令和元年年度第1回動物実験管理委員会 議事録 メール会議

参加者：夏目、真野、岡崎、金、田中享、大島新、菊地

日時：令和2年3月25日（水）

議題：1. コロナウイルス感染のリスクについて協議し、令和2年度の「第1回および第2回の動物管理に関する教育訓練および施設利用方法講習会」を取りやめ、教育訓練および施設利用説明・講習会のビデオを撮影し、利用する研究室ごとにビデオを配信し、視聴してもらうこととした。申請書等は、視聴したことを踏まえて、提出してもらうこととした。

以上

令和元年度委員会報告

委員会名	動物実験広報委員会
委員	委員長 上田秀雄 副委員長 片倉賢紀 委員 加園恵三、工藤なをみ、須永克佳、岩田直洋
会議回数	1回 (令和元年度活動報告について)
年度始めの計画	城西大学全学動物実験管理委員会の活動をホームページ等により広報する。
実施状況と結果	実施状況 平成 30 年度城西大学動物実験自己点検・評価報告書をホームページで公開した。 届出・計画書書式等の更新版をホームページに掲載した。
自己評価	平成 30 年度城西大学動物実験自己点検・評価報告書を公開し、文部科学省「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本方針」に準じた情報公開ができたと考えられ、妥当な活動が行われたと評価できる。

## 2019年度 実験動物飼養施設報告書（薬学部動物施設）

### (1) 21号館動物施設

年間を通して概ね良好な飼養環境が維持された。21号館動物施設の保守・点検、消毒、物品購入等を下記の通り行った。

#### 1) 保守・点検

① 空調保守点検：2019年7月3、4日

2) 消毒：2019年7月4、5日

3) 物品購入：清掃・消毒用品等

4) 機器備品購入：オートクレーブ

### (2) 16号館動物施設

年間を通して概ね良好な飼養環境が維持された。16号館動物施設の保守・点検、消毒、物品購入等を下記の通り行った。

#### 1) 保守・点検・修繕

① 空調保守点検：2019年7月2日

② 空調設備のオーバーホール、部品交換を行った。

2) 消毒：2019年7月3、4日

3) 物品購入：清掃・消毒用品等

### (3) 22号館動物施設

年間を通して利用しなかった。次年度から稼働する予定とした。

### (4) その他

#### 1) 利用者のマナーについて

動物室の利用マナーについて、大きな問題は発生しなかった。

以上（文責 菊地）

## 2019年度 実験動物飼養施設報告書 (理学部動物施設)

### (1) 1号館動物施設

年間を通して概ね良好な飼養環境が維持された。1号館動物施設の保守・点検・消毒・物品購入等を下記の通り行った。

#### 1) 保守・点検

①空調保守点検：2019年10月10日

②給排気及び空調フィルターの交換を行った。

2) 消毒：2019年10月10、11日

3) 物品購入：飼養用品の補充、清掃・消毒用品・純水装置フィルター等

### (2) その他

#### 1) 利用者のマナーについて

利用者は動物室の使用ルールを遵守して利用しており、問題はなかった。

#### 2) 動物運搬について

配布されたボックス及び収納バックにより運搬しており、問題はなかった。

理学部動物管理委員会委員長

北川 浩子

## 2019年度 実験動物飼養施設報告（生命科学研究センター）

2019年度生命科学研究センターにおける実験動物の飼養につきましては、年間を通し、概ね良好な飼育環境を維持することができました。

新型コロナウイルス感染の拡大に伴い、マスク、消毒薬の供給が滞っており、今後の運営に支障が起きない様、利用者へのマスクの使用制限のお願い及び在庫の確認等の対応を行いました。

### 修繕

- 4月12日 玄関扉のパッキン修理
- 5月16日 4階飼育室1, 5, 6の電灯タイマー設定変更
- 5月28日 4階飼育室8及び洗浄室の扉修理  
～30日
- 5月29日 4階トイレ水漏れ修理
- 7月3日 洗濯機修理
- 7月12日 4階飼育室4(406)の扉のノブ修理
- 8月28日 ケージワッシャー点検作業
- 9月25日 ケージワッシャー修理
- 11月15日 セーフテイラック用ブローア交換修理
- 12月9日 鏡の設置(4階ロッカー室、5階エレベーター前、感染更衣室、S P F更衣室)
- 1月29日 4・5階流し排水溝修繕
- 2月3日 4・5階流し排水溝 漏水修繕完了
- 2月5日 ケージワッシャー修理
- 2月13日 換気扇修理。天井修理
- 2月18日 4階プレハブ冷蔵庫メンテナンス・床修繕  
～20日
- 2月20日 空調機点検(フィルタ交換工事)
- 3月10日 ケージワッシャー蒸気配管全交換修理  
～11日

### 工事

- 6月24日(408室)自動給水設備一式
- 8月21日～9月2日 エレベーターリニューアル工事

### 保守点検

- 2月5日 オートクレーブ(大型・小型)装置部品交換

### 消毒作業

- 7月8日～26日 生命科学研究センター消毒清掃作業(定期作業)

## 環境検査

- 1回目 6月12日、異常なし
- 2回目 10月24日、異常なし
- 3回目 3月 4日、異常なし

## SPF ヘアレスラットモニタリング検査

- 5月28日 定期検査 異常なし
- 9月30日 定期検査 異常なし
- 2月 4日 定期検査 異常なし

## 病気・事故等

- 9月24日 4階飼育室3において唾液腺涙腺炎ウイルス感染症の症状の疑いがあるラットについて（日本クレアに確認を取り、輸送に伴うストレスが原因と思われることから様子をみることになった。）
- 2月7日 新型コロナウイルス感染の拡大に伴い、利用者に対しマスクの使用についてひとり一日一枚の使用制限のお願いを行いました。
- 3月10日 4階飼育室6において遺伝子組換えマウスが1匹逸走したが、無事室内で捕獲した。

## 物品の購入

自動給水ノズルTV-25 部品、ラット、マウス、エコンPC、ネズミ捕獲機、ンペイ活栓瓶、減圧弁、ニュービコースワイパー、アクアフィルター10 $\mu$ 、カネフィール、エコンアーク30、殺菌灯、防塵カバーオール、消毒用エタノール、ヒビスコール、ツルクロン、マイクロカット、飼育棚用キャスター、トランスポートアガー、ニトリストタッチ、マイディリーグローブ、無塵衣、保護メガネ、ゴーグル、P-カットテープ、コンフォートサービスタオル、エスクリニカルパック、ビニールテープ、ザコネットチューブ50M、ポリテープ2本、業務用特厚ポリ袋、モップ絞り器、水拭きモップ、軍足、亀の子タワシ、ホワイトウォッシュジェル、ドキュメントスキャナー、レーザーカートリッジ322II（キャノン）、リサイクルペーパー、スチームクリナー、レーザーカートリッジ、クリーンケージ本体、フタ、ゲージセット、鏡、チャート紙、キムタオル、キムワイプ、ネオポアー、動物はかり用接続ケーブル、給水配管、オスバンS、軍足、バイオハザードバック、オートクレーブ用消臭剤

生命科学研究センター  
所長 岡崎真理